

株式会社エバーフィールド木材加工場新築設計提案（プロポーザル）仕様書

1 計画地、敷地条件など

- ① 計画地 熊本県上益城郡甲佐町大字府領字下原892外2筆
- ② 都市計画等 都市計画区域外、下水道処理区域外
- ③ 周辺道路 敷地東側県道小川嘉島線 幅員約5m
- ④ 敷地面積 2,759.25㎡
- ⑤ 既存建物等 敷地内に別途工事により既存建物を移築予定。（今回の設計には含まない。）
なお、既存建物の移築工事は令和2年（2020年）3月までに完了予定。

2 計画内容

「株式会社エバーフィールド木材加工場新築工事業計画」に基づき、木材加工場新築のための基本・実施設計を行う。

3 計画条件

- ① 構造及び階数 木造とし、平屋建てとすること。
- ② 施設規模 延べ面積は600㎡程度とすること。（20m×30m程度）
最高高さは16m以下とすること。
20m程度のスパンを有する大空間を確保すること。
- ③ 諸室等 木材加工作業室のみ
※研修施設として活用する際に必要なトイレ、休憩室、倉庫等の機能は別途移設整備する隣接建築物が有する。
- ④ 設備等 木材加工機用電源、照明設備、屋外水栓
※空調設備は設置しない計画としている。
※屋外水栓は手洗い等としての使用を想定している。

4 設計条件

- ① 「株式会社エバーフィールド木材加工工場新築工事業計画書」に基づき、県産流通木材（小断面材）を活用し、木材の架構自体が美しいデザインとなるような大スパンを有する新しい木造空間とすること。
- ② 特殊金物や特殊な工法、大断面集成材等の使用を極力避け、地元の大工が通常行っている在来軸組工法の技術によって建築可能なものとすること。
- ③ 計画地は都市計画区域外であるが、周辺に低層住宅が立ち並ぶ地域であるため、周囲の景観に配慮した計画とすること。
- ④ ユニバーサルデザインを前提とした設計とすること。
（参考）ユニバーサルデザイン建築ガイドライン（熊本県）
URL http://www.pref.kumamoto.jp/kiji_3203.html
- ⑤ 「熊本県公共施設・公共工事木材利用推進基本方針」（平成23年2月21日公表）に基づき、熊本県内で生産又は加工した熊本県産材を活用すること。
- ⑥ メンテナンスのしやすさや耐久性、環境負荷低減（省エネ、省資源等）に配慮した計画とすること。
- ⑦ 建築基準法、消防法等その他関係法令に適合した設計とすること。
- ⑧ 計画建築物の配置は「別添資料4 株式会社エバーフィールド木材加工場新築工事業計画書」に添付されている配置計画図を参考とする。
- ⑨ 計画建築物には資材搬入等のための開口を設け、開口の大きさは幅10m以上、高さ3m以上を確保すること。
- ⑩ 一般流通木材の加工を想定し、室内の最低高さは5m程度確保すること。

5 設計協議等

設計段階において、施工者となる株式会社エバーフィールドと十分な協議を行い、地域の工務

店の技術力やノウハウを最大限引き出した計画となるよう努めること。

6 スケジュール（予定）

○基本・実施設計： 令和2年（2020年）9月末まで

○工事： 令和2年（2020年）10月頃着工予定

7 事業費

総事業費は59,000千円（設計費、工事監理費、消費税を含む）以内とする。

8 資料

① 別添資料1 位置図

② 別添資料2 敷地位置図、周辺図

③ 別添資料3 敷地現況写真

④ 別添資料4 株式会社エバーフィールド木材加工場新築工事 事業計画書